



①カツオのさばき方を熱心に見入る ②炎に負けずワザ焼きカツオタタキ作りに挑戦 ③地場産業振興センターの産業資料展示室でかつお節の歴史を学ぶ



目指せ！カツオ博士
 ↓子ども版枕崎カツオマイスター検定

■『第1回子ども版枕崎カツオマイスター検定』が3月21日、南薩地域地場産業振興センターで行われ、市内の小学5年生69人が受検しました。

今回の検定は、カツオについて深く学ぶことで、郷土に誇りと愛着を持つきっかけになればと市が企画したものです。

児童らは、ワザ焼きカツオタタキ作りやかつお節削りなどの実技試験をはじめ、魚のさばき方やかつお節の歴史を学んだあと、筆記試験に臨み、全員見事に合格しました。

9月には、だれでも受検できる検定を実施する予定です。ぜひ挑戦してみてください。

表彰者の紹介(敬称略)



▲表彰式の様子。古閑修一さん

青少年健全育成功労者
 松田良知、古閑修一、永澤輝昭、中崎大樹

優良社会教育関係功労者
 山口健治、小湊カヨ

市民あいさつ運動標語最優秀受賞者
 にしのひなの(立神小1年)、牧野夏希(立神小2年)、小村春果(桜山小3年)、駒水さきり(別府小4年)、上園樹(桜山小5年)、福永陽兵(別府小6年)、元榮柚花(立神中1年)、小湊奈津美(枕崎中2年)、上原麻以(桜山中3年)
 ※学年は受賞当時



■ふるさと再発見をテーマに、様々な団体や市民が1年間取り組んだ成果を発表する『第20回生涯学習フェスティバル』が3月13日、市民会館で開催され、約8000人の来場がありました。

講演会では、本市出身で、現在テレビ番組などで活躍している桜美林大学の阿久根英昭教授が「足下から健康を考える」という演題で講演。枕崎での思い出話や枕崎弁を交えながらの楽しく分かりやすい話に、来場者は笑顔で聞き入っていました。

このほか、枕崎少年少女合唱団による合唱やNPO法人ふれあい子育てグループの自然花の活動発表、ニュースポーツや創作活動などの体験コーナーもあり、生涯学習についての理解を深める絶好の機会となりました。



100歳おめでとうございます
 ~山口ミカさん(桜山東町)

■山口ミカさんが3月20日、めでたく100歳の誕生日を迎えられ、市と市社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

長年、農業に携ってきた山口さんは「趣味も野菜づくり」というほど打ち込んでいたそうで、集落の品評会で賞をもらうなど活躍されていたそうです。

これからも元気で長生きしてください。



校区民が団結『城山の梵鐘』鐘の音再び
 ~鐘樓の耐震工事を祝い中学卒業生が初打ち

■『城山の梵鐘』を吊るしている鐘樓の耐震補強工事が完了し、お披露目も兼ねた初打ち会が3月15日、鐘樓広場で行われました。この工事は、桜山校区自治公民館連絡協議会(久木田征男会長)が同校区や金山校区をはじめ、多くの市民や枕崎出身者に寄付を呼びかけました。

初打ち会では、桜山中学校の卒業生が保護者とともに初打ちをしました。久木田会長は「たくさんの方々から寄付をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。初打ちをした中学生にとってこれは希望の鐘、枕崎を離れることがあっても故郷のことを思い出してほしい」と話していました。



地元食材の素晴らしさに ふれ親しむ
 ~体験型まくらざき食育まつり

■枕崎の食を考える(山崎巳代治会長)主催の『体験型まくらざき食育まつり』が3月6日、枕崎漁村センターで開催され、市内外から家族連れなどたくさんの方々が参加しました。

参加者は、枕崎近海で獲れたサバやアジをさばき、炭火で焼いておいしく食べたり、そばを臼でひいてそば打ちをしたりと、地元食材の豊かさを体験とおして改めて実感する機会となりました。



カトリック幼稚園閉園 40年の思い出に浸る
 ~枕崎カトリック幼稚園閉園祭『さよなら ありがとう』

■枕崎カトリック幼稚園の閉園祭『さよなら ありがとう』が3月13日、同幼稚園で行われ、在園児や関係者をはじめ、卒園者などたくさんの方が来場し、40年の歴史に感謝し思い出に浸る日となりました。

特設ステージでは、在園児の歌の発表や卒園児による朗読劇、卒園児OBがこの日のために作った歌を参加者全員で合唱したほか、先生へ卒園証書を授与するサプライズもあり、涙あふれる温かな閉園祭となりました。最後は、在園児や来場者が、長年過ごしてきた園へのメッセージを入れたタイムカプセルを園庭の隅に埋めました。